

2026年税理士試験受験対策

実力判定公開模擬試験

国 税 徴 収 法

回 数	理 論 範 囲	計 算 範 囲
第1回	問3－1 差押えの通則など (繰上差押え、相続等があった場合の滞納処分の効力を除く)	国税徴収法第22条又は譲渡があった場合の第26条の配当計算
	問3－2 差押換え	
	問3－3 差押えの共通の手続	
	問3－4 動産又は有価証券の差押え	
	問3－5 第三者が占有する動産等の差押手続	
	問3－6 引渡命令を受けた第三者等の権利の保護	
	問3－7 債権の差押え	
	問3－8 不動産等の差押え	
	問3－9 第三債務者等がない無体財産権等の差押え	
	問3－10 第三債務者等がある無体財産権等の差押え	
	問6－5 雑則など	
第2回	問1－2 国税と被担保債権の優先関係	相続等があった場合及び質権の証明と証明をしない優先質権の特例を論点とした配当計算
	問3－1 差押えの通則など (繰上差押え、相続等があった場合の滞納処分の効力)	
	問4－1 納期限未到来の納税の猶予(要件等)	
	問4－2 災害等による一般の納税の猶予(要件等)	
	問4－3 確定手続が遅延した場合の納税の猶予(要件等)	
	問4－4 納税の猶予の申請手続等	
	問4－5 納税の猶予(効果及び取消し又は猶予期間の短縮)	
	問5－1 保全担保	
	問5－2 保全差押え	
	問5－3 繰上保全差押え	
	問5－4 繰上請求	
	問6－3 国税の納付義務の承継等	